

扉を開け!

～愛と本気の結晶を今!～

協力し愛ながら、本気で向かい愛ながら「自分の未来の扉を開く」!
いよいよこの2年間の集大成です!



<8月>

- 1日(土)～16日(日) 夏季休業
- 3日(月)～7日(金) 学年三者面談
- 13日(木)～16日(日) 学校閉庁日
- 17日(月) 始業式
- 19日(水) 集会(任命・表彰・学習)
- 26日(水) 学年集会
- ※17日(月)～31日(月) B日課

- 17日(木) B日課 職員研修
基礎学力テストⅢ
(17、18、23、24、28)
- 23日(水) B日課 SC来校 集会(講話)
- 25日(金) 地区新人大会(～27日)
3年実力テストⅢ
- 28日(月) テスト前部活動
停止期間(～1日)
- 29日(火) 心臓検診
- 30日(水) B日課
薬物乱用防止教室

<9月>

- 2日(水) 実力テストⅡ P T A本部役員会
- 3日(木) B日課 専門委員会
学習強調週間(～9日)
- 10日(木) 学校集金日

- ※10月1日(木)2日(金) 中間テスト
- ※修学旅行の方面を現在検討中です。

第1回スポレク大会(初陣)結果

7月3日(金)のスポーツレクリエーション大会では、降雨が心配された中、無事に実施することができました。3年生としては、この第1回を「初陣」として、実行委員の子どもたちの発案のもと、「天国と地獄」「ドッジボール」の2種目を実施しました。保護者の皆様におかれましては、ご参観いただきありがとうございます。このような状況下の中ですが、子どもたちの楽しむ様子を直接ご覧いただくことができたことを大変嬉しく思います。今後も9月と10月に第2回「激戦」、第3回「決戦」を実施する予定ですのでお楽しみに。

※「初陣」「激戦」「決戦」は、出井が勝手に命名したものです。少しでも楽しんでもらえれば・・・

【スポレク大会(初陣)結果】

- 天国と地獄 [男子] 1組: 79点 2組: 68点
[女子] 1組: 52点 2組: 50点

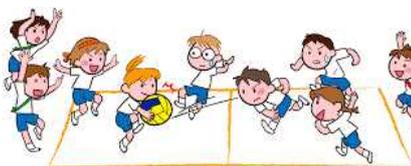
**総合 131対118
1組の勝利**

○ドッジボール

- | | | | |
|------|------------|------------|-------|
| 第1試合 | 1組男子 (9人) | 2組男子 (11人) | 2組の勝利 |
| | 1組女子 (8人) | 2組女子 (9人) | 2組の勝利 |
| 第2試合 | 1組 A (11人) | 2組 A (11人) | 引き分け |
| | 1組 B (12人) | 2組 B (9人) | 1組の勝利 |
| 第3試合 | 1組 A (7人) | 2組 B (9人) | 2組の勝利 |
| | 1組 B (12人) | 2組 A (9人) | 1組の勝利 |

**総合 3勝3敗1分
引き分け**

- | | | |
|--------------|------|---------|
| スペシャルシングルマッチ | [1組] | [2組] |
| 3勝2敗で1組の勝利 | 羽田 | ○ 黒崎 |
| | ランガー | ○ 村上 |
| | アクセル | ○ マングエラ |
| | 谷原 | ○ 猪瀬 |
| | 清水 | ○ 松本 |



部活動有終の美

7月の3週目から4週目にかけて、各部活動で引退試合並びに引退セレモニー等が実施されました。

先日発行されました「学校だより」でも各部長の思いが綴られていましたが、春の大会、夏の大会と中止になってしまった中、子どもたちはそれぞれの思いを胸に「継続」と「引退」を選択して活動してきました。本来の形とは違ってしまっただとは思いますが、3年生全員がこの夏をもって無事に引退することができたのは、ひとえに保護者の皆様のご協力とご声援のたまものであると思います。子どもたちは皆輝いていました。本当にありがとうございます。



高校説明会

夏休みにおきましては、私立高校の説明会にご参加なさる方がいらっしゃると思います。24日に発信させていただいたメールでもお知らせしましたが、何らかの理由で高校側が説明会を中止、もしくは延期する場合がございます。各高校のHPやメールを事前にご確認くださいようお願いいたします。

また、公立高校の説明会につきましては、9月に入ってからご希望をとらせていただきたいと思います。学年PTAでは、11校とご紹介しましたが、新たに「小山城南高校」に来ていただくことになりましたことをご報告します。



進路コーナー

【実力テストの結果から】

先日、7月に実施した第1回の実力テストの結果を返させていただきました。子どもたち一人ひとりの課題がはっきりとするものになったと思っています。特に、国語と英語には大きな課題が多く多くの生徒にあることがわかりました。今後の復習のポイントとして、ぜひ、成績カードとは別に配付した個別のデータ用紙の活用を推奨したいと思います。短い夏休みだからこそ、いかに活用するかが、3年生にとっては大切な取組になるはずです。以下に、個別データの活用の仕方の例を示しましたので、ご参考にしてください。

① 基礎・基本の習得が必要なところの確認

単純な語句や計算、単語などの理解不足であるのなら、そういった内容の反復練習や、場合によっては、まとめ直しながらの学び直しが必要となります。時間が必要なことですが、地道な取組が後につながります。

② 応用や論述など習得した知識の活用

応用や論述は、いろいろな問題の経験値が必要となります。経験値を上げるためには、わからない問題をそのままにしないことが重要となります。

③ 苦手教科・苦手分野の発見

人によって得意教科や不得意教科があることは仕方がないことです。しかしながら、教科によって大きな差があることは好ましくありません。「苦手なりにこれだけは」という部分を作ることができる、試験に自信をもって臨むことができると思います。

限られた時間の中、すべてを完璧にすることは難しいです。理解していない内容を反復して覚えようとするにも限界があります。学び直しが必要なのか、反復して覚えることが必要なのか、残された時間を有効に活用するためにもその見極めを間違えると、せっかく時間をかけてもプラスにならないことがあります。何の目的もなくただ学習するだけではほとんど力にならないのです。そういったことを考えながらの学習を進めていけるようにしていきたいですね。